



麻布幼稚園だより

令和6年1月号
港区立麻布幼稚園
園長 酒井 正美

令和6年が始まりました。年頭から本当に様々な出来事がありました。

能登半島地震により、犠牲となられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

幼稚園では、改めて非常災害時に対応するための準備、環境を点検し、実際の状況を想定した毎月の避難訓練を中心とした、安全な行動に対する指導をしっかりと行っていきます。

本年も麻布学校運営協議会（麻布コミュニティ・スクール）の幼稚園として、保護者・地域の皆様と連携・協力をし、子供たちのために教職員一同力を合わせて教育活動を進めて参ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

1年の始まりの1月は、今年度の締めくくりの3学期の始まりでもあります。幼稚園として今年度の取組を振り返り、次年度の教育課程につなげていきます。昨年末には学校評価へのご協力をありがとうございました。今年度は、子供たちへの聞き取りもしていただきありがとうございました。結果については今年度中にお示しをいたします。

子供たち一人ひとりには、大きな成長が見られます。毎回お願いをしている行事の後の感想や学校評価の中に記載してくださった内容から、保護者の皆様がお子さんの育ちをしっかりと見取られていることを感じます。改めて子供たちの育ちを振り返り、保護者の皆様とお子さんの成長を共有し一人ひとりの自信を高め、進級・進学へとつなげていきたいと思っております。

今年度は、「健康な心と体を育てます」

「真の国際人の基礎を育てます」を重点として進めてきました。

文部科学省が示している「幼稚園教育要領」に領域「健康」があります。
心身の健康に関する領域「健康」

[健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。]

(1) 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。

(2) 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。

(3) 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け見通しをもって行動する。

また、領域「環境」の中には、
身近な環境との関わりに関する領域「環境」

[周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。]

内容の取扱(4)文化や伝統に親しむ際には、正月や節句など我が国の伝統的な行事、国歌、唱歌、わらべうたや我が国の伝統的な遊びに親しんだり、異なる文化に触れる活動に親しんだりすることを通して、社会とのつながりの意識や国際理解教育の意識の芽生えなどが養われるようにすること。とあります。

これからもぐんぐんと育っていく子供たちの土台となる「健康」、そして多様な人と関わる土台となる「国際理解教育の芽生え」の育ちを検証し、教育日数の少ない3学期、幼児一人ひとりが伸びようとする力を支え、日々を大切に過ごしていきたいと思っております。

